

第18回「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議 摘録

日 時 令和8年8月7日（金） 15：00～16：00

場 所 京都市役所 会議室

出席者 別紙出席者名簿のとおり

1 開会

（塚口会長）

- お忙しい中、多くの方にお集まりいただき感謝申し上げます。
- 本日の「歩いて楽しいまちなか戦略推進会議」は、進捗管理という側面があるため、現状がどうなっているのか報告を受け、それに関連する皆様からの御意見等を伺う場となる。
- 「歩いて楽しいまちなか戦略推進会議」であるため、「こうすればもっと良くなるのではないか」という提案も進捗管理とあわせて御発言いただきたい。進捗管理を進めることが第一の目的であるが、より良くするための意見もいただけるならば、大変有意義であると考えている。

2 議事

（1）「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進

- ・ 「歩くまち・京都」の取組
- ・ まちなかの現状
- ・ 令和7・8年度の主な取組について
- ・ タクシー駐停車マナー改善ナッジ
- ・ 四条通地下道活性化事業

〔資料3－1に基づき、事務局より説明〕

（2）まちなかにおける自転車・電動キックボードの現状

〔資料3－2に基づき、株式会社 Luup より説明〕

3 意見交換

(2) まちなかにおける自転車・電動キックボードの現状

(矢野委員)

- 説明の最後に「一般的に GPS を活用した走行の遠隔制御は、乗用車など車と混在する環境において利用者が意図しないタイミングで走行が停止することで事故リスクが高まる懸念があるため、車が存在しない環境に限定して適用します」とあった。

すでに結論が示されているため意見を言うまでもないかもしれないが、本会議の参加前、新聞やネット上にはその理由が記載されていなかった。記事には「河川敷では急に止まるのではなく、段階的に止まる」ということのみが書かれていたため、「四条通でも同様の制御をしてほしい」と提案するよう言われて出席した経緯がある。先ほど答えをいただいたが、ぜひ技術の精度を上げて実現してほしいと考える。

(塚口会長)

- Luup 側から何かコメントはあるか。

(Luup 中島氏)

- 御意見いただき感謝申し上げます。御指摘のとおり、この制御が成り立てば、走ってはならないすべての道路で走行を防止でき、非常にコントロールしやすくなる。アシスト自転車ではペダルを漕ぐと制御しきれないが、特定小型原付はペダルによる人力駆動を伴わず原動機（電動機）のみにより走行する車両であるため、完全な制御が可能である。
- すべての道路へ展開できていない理由は、GPS の精度が不確かであるためである。これは Luup のシステムに限った話ではなく、GPS という衛星測位技術そのものが一般的に抱える限界によるものである。誤検知により、意図しない場所で車両を停止させてしまい、事故やトラブルを引き起こすリスクがある。現状では極めて限定的な場所に限られているが、技術向上に努め、位置誤差が解消され次第、適用場所や道路を拡大していく方針である。

(塚口会長)

- 現状の GPS は自動車に対しては概ね適切な位置情報を与えられるが、歩行者や自転車に対しては一層詳細な位置情報は必要となるため精度が十分とは言えない。歩行者用ナビでは位置のずれが生じることがある。今後の精度向上が進めば、特定小型原動機付自転車等も安全に利用できる環境が整うと思われる。アシスト自転車や電動キックボードの安全性向上に期待している。他に御意見はあるか。

(富江委員)

- 利用者に対し事前に実施している交通ルールテストについて、具体的な内容を伺いたい。

(Luup 中島氏)

- LUUP のサービスを利用する際、交通ルールテストで「全問クリア」することが必須の仕組みとなっている。問題は全 14 問で、出題順はシャッフルされるが内容は共通である。例えば「二段階右折をする際にこの方法で正しいか」を正誤で選ばせる問題や、飲酒運転の禁止など、クイズ形式で出題している。

(富江委員)

- 交差点などを一時停止せずに通過する LUUP 車両が多く見受けられる。交差点での一時停止や左右確認といったルールもテストに含まれているのか。

(Luup 中島氏)

- 一時停止すべき場所では一時停止しなければならない旨を理解し、選択させる仕組みにはなっている。ただし「個別の交差点」を指定した出題ではなく、一般的な法律及び安全に関する基本事項を 14 問で出題している形式である。

(富江委員)

- 歩行者が不安を感じている点に加え、普通の自転車と異なり最高速度が 20km/h 近く出る（※注：特定小型原付の最高速度上限等）ため、不安を抱く一般市民が多いのは事実である。安全性の確保や交通ルールの遵守といったマナー面について、貸し出す側の責任として細やかな指導や周知徹底を期待する。

(Luup 中島氏)

- 承知した。御指摘の点に留意する。

(塚口会長)

- 他に意見はあるか。

(福井委員)

- ポートが約 1,440 箇所あるとのことだが、主にどのエリア間での利用が多いのか。

(Luup 山口氏)

- いわゆる「田の字地区」での利用が最も多く、京都駅を拠点とした移動、西院エリ

ア、京阪三条駅、JR 二条駅周辺などの利用頻度が高い傾向にある。

(福井委員)

- もう一点、「地域見守りストップ機能」について、展開している車両種類のうち電動キックボードのみに適用されるのか。自力で漕ぐ車両や開発中の車両は制御対象外となるのか。

(Luup 中島氏)

- 現時点で自動制御をかけているのは電動キックボード（及び同カテゴリの車両）のみである。

京都で運用しているのは「電動アシスト自転車」と「電動キックボード」の２種類であり、開発中・他地域展開中の車両（シートボード、多輪型）のうち、カテゴリが「特定小型原付」に該当するシートボード等には同様の制御が適用可能である。

一方、電動アシスト自転車については、ペダルを漕ぐ力で走行できてしまう構造上の理由から、システムによる強制停止制御は行っておらず、特定小型原付に適した制御を限定して行っている。

(福井委員)

- 理解した。鴨川周辺の中でも特に利用が多い箇所があれば、後日教えていただきたい。

(塚口会長)

- 他に御発言はないか。
- それでは別件となるが、トラック協会から共有事項があるようなので、御説明をお願いする。

(トラック協会 森下委員)

- 上部団体からの共有事項として、現場で生じている課題についてお願いを申し上げたい。
- 通常、ドライバーのトイレ利用は営業所、休憩施設、サービスエリア、コンビニ等で行っているが、集荷・配送先での場面において、近年増えている女性ドライバーをはじめ、衛生的なトイレの利用に苦慮し、業務に支障をきたすケースが生じている。
周辺の御迷惑にならないよう配慮の上利用するため、配送先等における設備利用について深い御理解と御協力を賜りたい。

(塚口会長)

- 皆様におかれては、トラック協会からの要請に配慮をよろしくお願いする。
- ほかに意見等はないか。なければ私から1点発言させていただく。
- 本日は進捗管理を中心に現状の報告を受け、電動キックボード等を含め、適切に活用すれば歩いて楽しいまちづくりにつながる一方、運用を誤れば課題が生じる点について活発な意見交換が行われた。
- 会長としてではなく私個人の意見として述べるが、四条通を中心としたまちなかプロジェクトは、これで「完成形」と言えるのかという疑問がある。
- 様々な工夫や取り組みが進められ、一定の成果を収めていることは事実であり、現状は概ね順調に推移していると推察される。しかし中長期的に見れば、これで完成と捉えることもできれば、さらに取り組むべき課題があるとも捉えられる。今後こうした推進会議を開催する際は、現在の評価にとどまらず、地元住民や交通事業者をはじめとする多角的な視点から、将来像を見据えた評価や議論を行っていくことが望ましいと考える。
- 個人としての意見であるが、今後の会議運用のあり方として提案したい。
- 他に御発言がなければ、進行を事務局にお戻しする。

4 閉会

(長尾室長)

- 本日は厳しい暑さの中、塚口先生をはじめ地域・商店街の皆様に御参加いただき、心より感謝申し上げます。
- 塚口先生から「将来を見据えた議論の必要性」「本プロジェクトは完成形なのか」という御意見をいただいたが、行政としても決して現在が完成形であるとは考えていない。車線を減少し歩道を拡幅して終了ではなく、市民や来訪者が「安心・安全に歩いて楽しめる」環境を整備し続けることが最重要であると再認識した。
- 京都府警察からの事故増加傾向に関する報告や、自転車利用時のヘルメット着用の推進、Luup社の安全対策などがあったが、特に当地域においては「車道・歩道における自転車等の走行ルール」という長年の取り組みの経緯が存在する。GPS等の先端技術の発展に期待しつつも、現状においてはローカルルールを含めた交通ルールの周知徹底が極めて重要であると考えている。
- 本日いただいた貴重な御意見を反映させ、「歩くまち・京都」の推進に全力で取り組んでまいりため、引き続き御指導・御鞭撻を賜りたい。

分 野	所 属 ・ 役 職	委員氏名	出欠
学識経験者	【会長】 立命館大学 名誉教授	塚口 博司	出席
	【副会長】 京都大学経営管理大学院 教授 京都大学大学院工学研究科 教授	山田 忠史	出席（オンライン）
商業関係者	京都商店連盟会長	上田 照雄	代理出席 事務局 福井 雅之
	京都商店連盟中京東支部支部長	亀井 邦彦	出席
	四条繁栄会商店街振興組合副理事長	矢野 三博	出席
自治連合会	日彰自治連合会会長	横山 明江	出席
	日彰自治連合会副会長	大江 匡行	出席
	生祥自治連合会会長	中村 勝	出席
	生祥自治連合会	神谷 久美子	欠席
	立誠自治連合会会長	岡本 喜雅	出席
	立誠自治連合会	荒木 かおり	出席
	豊園自治連合会会長	安田 一夫	出席
	豊園自治連合会副会長	富江 さゆり	出席
	開智自治連合会会長	渡辺 友雅	出席
	永松自治連合会会長	長田 光彦	欠席
関係団体	「歩いて楽しいまちなか戦略」における駐車場 問題対策協議会 会長	津田 和雄	出席
	京都府旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	磯橋 輝彦	欠席
交通事業者	京都タクシー業務センター代表幹事	筒井 基好	代理出席 事務局長 近藤 智彦
	一般社団法人京都府トラック協会専務理事	森下 孝一	出席
市民	市民公募委員	紺谷 有花	出席

（オブザーバー）

国土交通省	近畿運輸局京都運輸支局首席運輸企画専門官	大谷 健太郎	出席
関係団体	「歩いて楽しいまちなか戦略」における駐車場 問題対策協議会 副会長	北原 洋司	欠席
関係企業	株式会社LUUP 西日本事業推進部 部長	中島 聡	出席
	株式会社LUUP 西日本事業推進部 関西G 京都リージョン 地域戦略ディレクター	山口 一剛	出席
	株式会社LUUP 西日本事業推進部 関西G 京都リージョン マネージャー	元平 伊作	出席
京都府警察	京都府警察本部交通部次長	野々下 俊彦	代理出席 交通戦略室長 丸谷 綾司
	京都府中京警察署長	上田 博之	欠席
	京都府下京警察署長	赤名 肇	代理出席 交通課長 釜口 幸生
京都市	中京区役所地域力推進室まちづくり推進課長	井上 久明	欠席
	下京区役所地域力推進室まちづくり推進課長	丸山 智也	出席
	文化市民局くらし安全推進課長	廣元 慶太郎	出席
	建設局自転車政策推進室計画調整課長	甘利 卓也	出席